

平成22年4月2日

各高等学校長 様

愛媛県高等学校体育連盟
中予支部長 永 井 博

平成22年度愛媛県高等学校総合体育大会卓球競技の部中予地区予選会について

標記の件につき、下記のとおり開催いたしますので、選手・監督の派遣についてご配慮お願い申し上げます。

記

1 日 時 平成22年5月1日(土) 8:00開場 9:00開会式
5月2日(日) 8:00開場 9:00競技開始

2 会 場 伊予市民体育館 伊予市森甲91-1
TEL 089-982-2367

3 種 目 団体戦・個人戦(シングルス・ダブルス)

4 出場制限 [団 体]男女とも1校1チーム(4~7名)
4シングル1ダブルスの試合方法
[ダブルス]男女とも5ペア以内
[シングルス]男女とも10名以内(ただし、推薦出場選手を除く)

5 申込方法 (1) 申込書の入手方法

ア 送付した申込書を利用する方法

イ 申込書様式をダウンロードする方法

(ア)「愛媛県高体連卓球専門部」ホームページに「申込書」を載せてありますので、下記URLに接続し、様式をダウンロードしてください。

(イ) <http://www.geocities.jp/hirotto211>

(2) 申込方法

申込書郵送の場合

申込用紙(別紙)に必要な事項を記入のうえ、下記宛てに発送のこと。

フロッピーディスク使用の郵送の場合

ダウンロードした様式に従って申込みを作成し、フロッピーディスクを下記宛に発送のこと。

〒790-0826 松山市文京町4-1 松山北高等学校内
北野将弘 TEL(089)-925-2161
FAX(089)-927-2964
携帯(090)-7629-7548
FAXは文字の読み間違いの可能性があるので、申込みは郵送してください。

Eメールを利用して申込書を添付する場合
ダウンロード様式に従って申込みを作成し、Eメールにて下記宛に発送のこと。

メールアドレス **kitano-masah@esnet.ed.jp**

必ず、ウイルスチェックのできるパソコンで送受信してください。

申込書の入手に失敗し、様式が必要な方は「上記メールアドレス」にアクセスし、その旨ご連絡ください。

(3) 申込み期限 **平成22年4月15日(木)**

期限厳守をお願いします。

- 6 組合せ会 4月23日(金) 17時00分
松山北高等学校 生物室(第3教棟2階)(地図参照)
- 7 県大会出場数 [団体] 男女とも8チーム(ただし、昨年度県高校選抜大会4位以内のチームは推薦)
[ダブルス] 男女とも16ペア
[シングルス] 男女とも16名(ただし、昨年度県新人大会ベスト16の選手は推薦)
- 8 その他 *本大会は本年度の県総体要項により実施する。なお、詳細は別紙の諸連絡を参照のこと
*ユニホームの統一については、トラブルのないよう確実にすること。
- 9 推薦出場(枠外にて申し込みはすること)

[男子団体] 松山北
[女子団体] 済美 松山商業 新田
[男子シングルス] 江戸(松北) 中川(新田) 上村(松商) 正木(伊予)
井上(松東) 森(愛附)
[女子シングルス] 竹田, 間宮(松商) 武智, 丹生谷, 白石, 泉, 井上(済美)
村瀬(新田) 藤原(伊農) 吉岡(松北)

平成22年4月2日

中予地区高等学校卓球部顧問 各位

高体連卓球専門委員 北野 将弘

平成22年度愛媛県高等学校総合体育大会卓球の部中予地区予選会について（諸連絡）

標記の件につき、下記のとおり御連絡申し上げます。

記

1 試合規則について

(1) 現行の日本卓球ルールを適用する。

(1.1本5セットマッチ、サービス2本交代、タイムアウト制は適用しない。)

(2) ルール等に関するトラブルが生じた場合は、本部に連絡し指示を受けること。

(3) 試合球はホワイト球40mmを各校から準備しこれを使用する。

(4) 服装に関する規定はこれを厳守し、各高等学校顧問の責任において、トラブルの生じないよう部員にも周知徹底を図ること。なお、違反のあったチーム・選手の出場は厳に認めない。

ユニホームは、シャツ・ショーツともにJTTAが公認したものであること。

本年度交付のJTTA登録のゼッケンを背面に付すること。

団体戦登録選手のユニホームはシャツ・ショーツともに同一であること。

個人戦ダブルスのペアのユニホームはシャツ・ショーツともに同一であること。

でいう同一とは、同一メーカーの同一製品（同型同色）を指すものであり、多少のデザインの違い等を可とするものではない。

なお、本来は2種類のユニホームを準備することが規定されているが、この点に関しては各校の事情を考慮し、1種類のみで可とする。

ユニホームの統一に関連し、団体戦の整列は、登録メンバー全員が上衣半袖ユニホーム・ゼッケン着用の上整列で行う。

(5) ラバーのはりかえ（接着剤の使用）は必ず風通しの良い屋外（ラバー張り替え所）で、ITTF公認の接着剤を使用して行うこと。屋内での接着剤の使用、非公認の接着剤の使用や溶剤の使用が発覚した場合は、即時に、本大会ならびに上位大会への出場を停止する。

2 試合進行について

5月1日（土）： 団体戦のチャレンジマッチ準決勝、及び個人戦ダブルス決勝戦までを行う。
団体戦の決勝に残ったチームは、3日の決勝戦に出場する。

5月2日（日）： 個人シングルスより始めて、ベスト8が出そろった時点でチャレンジマッチを行う。シングルス決勝終了後、団体戦（チャレンジマッチ）の決勝戦を行う。チャレンジマッチは、チャレンジする側で抽選を行い、対戦相手を決定する。

3 その他注意事項

- (1) 団体戦は相互審判、個人戦は最初のみ相互審判で以後は敗者審判とする。勝者は直ちに試合結果を本部に報告すること。
- (2) 団体戦のベンチに入ることのできる人員は、登録選手7名・監督1名とする。審判要員は認めない。ベンチは番号の若いチームが外側とする。
- (3) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。
- (4) 監督は、校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険)等に必ず加入していることを条件とする。また、申請書ならびに傷害・賠償責任保険のコピーを卓球専門部委員長に届け出をすること。監督者はベンチに入る際に監督ワッペンを着用すること。
- (5) 団体戦の開始から終了までの間、選手はベンチから離れてはならない。やむを得ぬ理由でベンチから離れる場合は、相手チーム監督の許可を得ること。
- (6) 個人戦のベンチコーチは認めない。試合中の選手、審判以外は観覧席で観戦すること。
- (7) 練習は3球程度とする。ラリーとラリーの間の進行を早くすること。セット間の監督のアドバイスもむやみに長くなってはならない。(1分以内)
- (8) 選手は高校生らしいマナーに徹すること。バッドマナーに対しては次の罰則を課す。
警告 失点1点 失点2点 失格
- (9) 場内は土足厳禁とするので、下足を入れる袋を持参すること。(上下靴をきちんと区別すること。)その他、持ち物は各自で管理すること。
- (10) 団体戦登録選手の変更は認めない。申込書が提出された後の個人戦の選手変更はいかなる理由があろうとも一切認めない。
- (11) 選手は必ず所定のゼッケンを着用すること。ゼッケン未使用の選手は試合を行うことはできない。本大会に限り、前年度のゼッケンならびに簡易ゼッケンの使用を認める。
- (12) ゴミは各チームの責任において処理し、帰る際必ず持ち帰ること。
- (13) 団体戦初戦のオーダー用紙提出⚡切は、8:45とする。(時間厳守のこと)一度提出されたオーダーの変更は一切認めない。オーダー用紙は、1枚に左右に同一のオーダーを記入し本部に提出すること。
オーダーはフルネームで記入すること。
1・2番のシングルス出場者でダブルスを組むことはできない。ただし、4・5番の
出場者でダブルスを組むことはできる。
- (14) 体育館開館 1日(土) 8:00
2日(日) 8:00
- (15) 体育館の準備片づけ等に積極的に協力をお願いします。